

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

- ①住宅に関して、新しい課題として有効な知見を得たもの（設計・計画事例研究を含む）で、原則として未発表のもの
- ②住宅に関して、大会学術講演会等で口頭発表したものを発展させたものや、何編かをまとめて一連の研究としたもので、まとまりのあるもの
- ③地域の住環境の向上、住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・実践事例などに関する研究報告

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第4回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。

2009年5月15日 締め切り。応募総数79題。

◇研究論文投稿

2009年7月6日 投稿締め切り。応募総数53編。

◇一次審査

2009年7月10日～7月28日 査読者による審査

2009年8月3日 一次判定会議開催。採用5編、再提出39編、不採用9編を判定。

◇再提出投稿

2009年9月1日 再提出締め切り。再提出39編。

◇二次審査

2009年9月4日～9月16日 査読者による二次審査

2009年9月25日 最終判定会議開催。採用38編、不採用1編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用43編、不採用10編。

(3) 審査の概要

◇一次審査

投稿論文（53編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」5編、「採用+再提出」15編、「再提出+再提出」10編、「採用+不採用」6編、「再提出+不採用」13編、「不採用+不採用」4編であった。

このうち、「採用+不採用」論文6編、「再提出+不採用」論文13編の計19編について採否の審議を行った。6編の「採用+不採用」論文は、5編を再提出、1編を不採用とした。13編の「再提出+不採用」論文は、9編を再提出、4編を不採用とした。

以上の結果、採用5編、再提出39編、不採用9編とした。

◇二次審査

再提出論文（39編）については、一次審査で「不採用」が1つあり再審査になっていた14編と、二次審査で「不採用」が1つついた3編の計17編について慎重に審議を行った結果、16編を採用、1編を不採用と判定した。

(4) 報告会の運営

①幹事 (五十音順)

伊藤史子 (首都大学東京)	碓田智子 (大阪教育大)
神吉紀世子 (京都大)	栗原伸治 (日本大)
黒野弘靖 (新潟大)	小池孝子 (日本女子大)
佐々木誠 (プレイスメイキング研究所)	鈴木雅之 (千葉大)
高田光雄 (京都大)	野澤 康 (工学院大)
野中勝利 (筑波大)	吉田友彦 (立命館大)

②査読者 (五十音順)

浅沼由紀 (文化女子大)	新井信幸 (東北工業大)	有賀隆 (早稲田大)
市古太郎 (首都大学東京)	伊藤史子 (前掲)	碓田智子 (前掲)
大月敏雄 (東京大)	大沼正寛 (東北文化学園大)	岡絵里子 (関西大)
門脇耕三 (首都大学東京)	神吉紀世子 (前掲)	
木内 望 (国土技術政策総合研究所)	工藤和美 (明石工専)	窪田亜矢 (東京大)
倉知徹 (神戸芸術工科大)	栗原伸治 (前掲)	栗山尚子 (神戸大)
黒野弘靖 (前掲)	小池孝子 (前掲)	小杉学 (愛知産業大)
後藤隆太郎 (佐賀大)	小林秀樹 (千葉大)	近藤民代 (神戸大)
斎藤雪彦 (千葉大)	佐々木誠 (前掲)	定行まり子 (日本女子大)
鮫島和夫 (長崎総合科学大)	篠崎正彦 (東洋大)	柴田建 (九州大)
鈴木雅之 (前掲)	鈴木浩 (福島大)	瀬田史彦 (大阪市立大)
瀬渡章子 (奈良女子大)	高田光雄 (前掲)	高見沢実 (横浜国立大)
田口太郎 (新潟工科大)	中島明子 (和洋女子大)	野澤千絵 (東洋大)
長谷川洋 (国土技術政策総合研究所)	初見学 (東京理科大)	花里俊廣 (筑波大)
伴丈正志 (長崎総科大)	檜谷美恵子 (京都府立大)	平田隆行 (和歌山大)
藤岡泰寛 (横浜国立大)	真境名達哉 (室蘭工大)	松山明 (中部大)
真野洋介 (東京工業大)	三浦研 (大阪市立大)	森永良丙 (千葉大)
森本信明 (近畿大)	安武敦子 (駒沢女子大)	山崎さゆり (田園調布学園大)
山崎寿一 (神戸大)	山崎義人 (兵庫県立大)	吉田友彦 (前掲)